

各いきいき・サロンからのメッセージ

ふれあいいきいきサロン「酔芙蓉の会」

(代表 鈴木 心子)

いきいきサロン「酔芙蓉の会」が発足して早12年、当初は集会所が無く約4年間自宅開放で始め、その後集会所に場所を移し現在に至っております。身近に活動する場があるということは皆が気兼ねなく集まれるし、また他グループとの交流など活動内容にも広がりができ、良かったと思えました。

時々地域に住む若い方々にも呼びかけして4年目になりますが、回数を重ねる毎にお互い徐々に打ちとけ、今では声のかかるのを心待ちにしているようです。今年も一緒にクッキー作りをしましたが、とても好評でした。一気に成果を望むのではなく、地域の実状に合わせ長いスパンで福祉を進めていくことが大切なのではないかと実感しております。

今年の主な内容

- *お茶飲み会 *草取り *クッキー作り
- *災害時非常食作り等 *女の小正月 *ひな祭りパーティ等



▲クッキー作りをしました

ふれあいいきいきサロン「中丸春秋会」

(代表 酒寄 芳治)

当サロンは地域と密着した健康麻雀を展開し今年で7年。会員数も増加の一途をたどり現在24名で、第1・3木曜日中丸集会所で楽しい雰囲気の中活動しております。特に年間を前期後期に分け対局成績を集計し表彰制度を設けており、今年の前期優勝者は鈴木時子さん「石川塾」一期生の地道な努力が開花。優勝カップ、賞状、記念品を手に「私は麻雀が未知のまゝ入会し良き先輩、指導者に根気強く面倒見て頂いたお蔭」とコメント。また、第2位3位、BB賞とすべての賞を女性軍が独占。世相の如く女性パワーですか!!男性諸君の御奮起を!!

一方健康麻雀以外にも暑気払い、「絆」花壇の除草、研修会(村外活動10月に県自然博物館視察)、忘年会を実施し会員同志の親睦を図って行きます。なお、第2・5木曜日は姉妹サロンとして「ジャンカフェ輝」を開店しておりますのでどなたでも参加できます。一度見えてみませんか。



▲健康麻雀の前期優勝者

ふれあい・いきいきサロン「笑遊会」

(代表 佐久間 博)

緑ヶ丘区集会所で定期的開催される健康麻雀の同好会が「笑遊会」です。その名称の通り、笑い声に満ち溢れた雰囲気の中でゲームに興じています。

「笑遊会」は、H22年6月に会員募集、同年8月に不要となった麻雀用具や卓に改造する為の炬燵やぐらの提供を呼びかけ発足してから、5年が過ぎました。

会員数は、4月に1名の入会があり、7月現在で22名です。活動はこの同好会にも負けないと自負しており、昨年度の開催日数は66日、参加人数は延614名でした。

年度末には、一年間の成績に応じた表彰が行なわれます。

発足当時からの会の変遷は、「笑遊会の沿革」として纏められ、別則の表彰規定と共に「笑遊会」のバイブルとなっております。

村内にも同好の方が多勢おられる様です。「絆」の大ホールで東海村健康麻雀大会を開くことが出来れば……を夢を見ています。



▲指先の訓練も兼ねて



ぬくもりの手と手をつなぐ中丸地区

中丸地区社協だより

第18号

平成27年8月発行

発行元 中丸地区社会福祉協議会
発行元住所 〒319-1114
東海村須和間345 中丸コミュニティセンター内
電話029-287-3158

ごあいさつ

(中丸地区社協会長 石田 正久)



去る4月25日に開催された総会で役員交代が行われ、笠原前会長に代わり選任されました。中丸地区内社協の運営体制が5地区部会・2事業部会に纏められ定着した中で、各部会とも掲げた目標を着実に実現すべく活発な活動を展開しております。

各部会ともそれぞれの地区・事業にふさわしい行事を開催し参加者との交流で成果を挙げておりますが、ミニ敬老会のような年1回の行事に加えて、最近では「ふれあいカフェ」のような居場所づくりが進められ、誰でも何時でも立ち寄り憩える場が設けられる傾向が増えています。

運営する立場としてはきめ細かい準備と多くの人手を要しますが、出来る限り援け合いの精神を実現するための求めに応えるべくメンバー一同臨んでおります。

この機会にボランティアメンバーの動静について触れて見ますと、永い歴史に支えられた固い結束の下、環境の変化・ニーズに応えるべく努力を重ね対応しておりますが、新入会員の加入は鈍く会員自身の高齢化も進み、次第にお世話される側へ向かっていることに悩んでいるところ です。

活気のある打ち合わせや行事への迅速な対応は元気充分ですが、後に続くメンバーを期待します。地域による援け合いの必要性はますます昂まっていますが、まさに掲げた活動方針「無理せず楽しく継続的に活動できる環境づくりに向けて、新たな一歩を踏み出そう」に沿って邁進する所存です。

平成27年度中丸地区社協総会開かれる

4月25日、中丸地区社協総会が中丸コミュニティセンターにおいて開催されました。

当日は、村社協の飛田常務理事・中丸地区根本自治会長をはじめ、各区自治会長のご来賓をいただくなど、54名の参加者がありました。

冒頭笠原会長の挨拶に引き続いて来賓のご挨拶をいただいた後、緑ヶ丘区の大串氏が議長として指名され審議に入りました。審議では、前年度の事業報告・決算報告の後、会長・副会長・会計・監事の改選が行われ、石田新会長他の新執行体制が承認されました。引き続き新役員から、本年度の事業案や予算案についての提案があり、活発な質疑応答の後全会一致で承認され無事終了しました。

なお、総会終了後に、昨年度の活動状況を振り返るビデオ上映があり好評を博しました。



中丸地区社協について、ご意見・ご要望がありましたら、中丸コミュニティセンター内事務局までご連絡ください。

福祉活動に関心のある方、ボランティア活動をやってみたいと考えておられる方の参加をお待ちしておりますので、気軽にお声がけください。

中丸地区社協事務局
中丸コミュニティセンター内
担当 高萩
電話・FAX 287-3158

各部会からのメッセージ

押延区部会 楽しく交流を継続し、支え合うことを目指して (部会長 立石 美津子)

「おしのベサロン」は、毎月第1木曜日をサロンの日と決め(1月、8月は休み)年10回開いています。会場は主に、押延集会所と、広場ですが、4月は社協のバスに乗って、阿漕が浦公園へ、お花見に出かけました。お天気にも恵まれ、満開の桜の下、散策とおしゃべり、お弁当を食べ、親睦を深めました。5月のグラウンドゴルフは、いつもの押延公園ではなく今回は、絆の多目的広場で、本格的なコースで行うことが出来ました。毎回同じ事ではなく、月ごとに、テーマを決めてのサロンです。7月は七夕飾り、12月は餅つき、3月は桜餅作り等です。

見守り活動では、75歳以上の一人暮らしの方や、85歳以上の方へ、自治会と連携して、鉢花を届け、喜んでいただいています。



▲お花見に出かけました

須和間区部会 大きくなーれ!ふれあいの輪 (部会長 埴 久子)

「こんにちは」笑顔で出迎えてくれる高齢者の方々。短いけれど楽しいふれあいのひとときです。5月末、80歳以上の高齢者40人の在宅訪問をし、手作り弁当を届けました。今年最初の行事でしたが、高齢者との、そして会員同士のコミュニケーションによりふれあいの輪が生まれました。

6月半ばには、集会所の清掃で汗を流し、終了後、講師指導のもと健康体操を実施。会員相互の輪が徐々にふくらみ貴重な研修会となりました。今後、神社のまつり、わいわいまつり、ミニ敬老会があります。敬老会には、おいしい料理と楽しいレクリエーションを計画。多くの方のご参加をお待ちしております。

須和間区のふれあい協力員は28名。1～2年で交代ですが、輪番制のため誰もが福祉活動に関わるとても有効なシステムです。“より住みよい地域づくり”を目指して、会員同士の輪、地域との交流の輪がますます大きくなるよう期待しながら活動しています。



▲心を込めて作りしました



▲手と手から肘と肘へ!

南台区部会 “地域の力”をみんなで共有しよう! (部会長 道口 典子)

今年も各行事の担当者が積極的に企画を準備し実行しています。6月には、協力員の研修として、プロの料理人を指導者に招き、「食べることは生きること」、食材を最後まで使い切り一滴の水も無駄にしない術を教えてくださいました。8月は、ふれあいカフェと併せてミニ食事会を開催しました。夏休み子どもたちとカレーを食べながら世代間交流を企画しましたが、平日開催は、働く母親たちが多かった今、難しいことだと痛感しました。9月には、住民対象の健康体操を計画しています。毎週月曜日に南台集会所で筋トレ教室の指導をしてくださっている先生をお招きして、運動するチャンスの少ない方にも無理なく楽しめる運動を教えてくださいます。12月には、自治会の文教委員会と共催で高齢者クラブ、子ども会にも呼びかけ、お互いに意見を出し合い、力を合わせて世代間交流クリスマス会を開催します。それぞれの立場を理解し、“地域の力”をみんなで共有したいと思います。



▲プロの指導を受けた料理



▲プロの料理人を囲んだ食事会



舟石川中丸区部会 今年度の活動状況について (部会長 相沢 清子)

舟石川中丸区ふれあい協力員は、29名で、そのうち男性は3名です。昨年度までは、NPO法人楽々茶の間に世話になり毎月第4火曜日に食事会をしていました。一人暮らしの男性が食事会の継続を希望していましたので、私達は舟石川コミュニティセンターで楽々茶の間の人達と一緒に食事作りをし中丸集会所で食事会を続けてきました。シルバー体操の指導者にお世話になったり、ハーモニカの得意な会員の伴奏で歌を歌ったりして楽しいひとときを過ごすことができましたが、今年度は参加者の都合、諸事情で食事会は止めることにしました。

今年の活動は昨年同様、世代間交流会、福祉活動研修会、小地域福祉活動推進会議など、全員参加で行なっております。特に世代間交流会では若い人達も加わり調理実習、ゲームなどを中心に地域の人達との交流を深めています。

私達は、地域の実情に合わせて、また私達の力に合わせて無理のない活動をしてきました。ですから地区社協の行事にも、皆さん積極的に参加してきました。わいわい祭りにも進んで参加しています。私達の自慢であると言えるかも知れません。



▲調理実習(パン作り)



▲世代間交流会(ビンゴゲーム)

緑ヶ丘部会 誕生から4年経過し、新たな取り組みへ (部会長 佐久間 博)

高齢化率が村内一と位置付けされている緑ヶ丘区に於いては、地域に隣人との交流の場を設ける必要が有ります。「緑ヶ丘区おいでマンド」は、この様なニーズを背景に行事を計画しており、具体的には「集会所において」(居場所づくり事業)、「スポーツ大会」「節分祭」「炊き出し」(世代間交流事業)、と「健康麻雀」(サロン事業)の3本柱から成り立っています。これらの行事は全て集会所で行なわれるため、自分の都合の良い時刻に集って楽しむことが出来ます。

今年度は、「集会所において」を3回増やし、11回開催することにしました。好評の出前講座も、成年後見制度、若さと元気を保つ栄養の話、など計4回開設致します。

恒例となった東日本大震災を忘れない為の「炊き出し」には、自治会の自主防災会の全面的な支援を頂くなど、自治会の中にも広く根を張りつつあります。

補助事業として進めている、花苗プレゼント、茄子オーナー制度や、刃物研ぎ(無料)も成果を挙げています。



▲カレー炊き出し

子育て支援事業部会 子育て中のママ&パパ!お待ちしております~ (部会長 鈴木 朝美)

今年度も、「赤ちゃんママのキラキラサロン」は年8回、「ベビーマッサージ」は年3回実施する予定でスタートしています。

地域に住む赤ちゃん大好きおばさんたちと、子育て中のママとパパとの交流を目的に、毎回、さまざまな内容で楽しんでいます。

これからの開催日は、キラキラサロン:9/7・10/19・11/16・12/21・1/25・2/29(いずれも月曜日)、ベビーマッサージ:9/5・1/9(いずれも土曜日)となっています。回覧でもお知らせしますので、ぜひ遊びに来てください。また、お手伝いして下さるスタッフも募集していますので、こちらもよろしくお願いします。



▲パパとのベビーマッサージ



▲小麦粉ねんど作り

障がい児者支援事業部会 「晴れカフェ」で会いましょう~ (部会長 埴 順子)

「回覧板を見て来ました」とやって来たグループやコミセンに遊びに来たらカフェのオープン日だったのでという親子連れで、今年度の晴れカフェがささやかに始まりました。

5/29は中国茶を味わい、6/29は浴衣の着付けを楽しみました。訪れた人もおしゃべりをする人あり、浴衣姿でポーズをとる人あり、それを見て楽しむ人ありで、それぞれのティータイムを過ごしていました。時々やって来るお茶飲み場「晴れカフェ」のこれからのオープン日は、9/30、10/30、1/29となっています。ひとりで、ふたりで、グループで...どうぞ気軽に立ち寄り下さい。



▲浴衣の着付け風景